

開講年度：2026

科目名	症候・症例からのアプローチと臨床検査 Essential Clinical Examination	題目（副題）	
担当教員、教員連絡先内線	森 淳一郎 上原 剛・松本 剛	5821	
学年、講義期間、曜日・時限	4 前期（随時）	火曜・4時限 火曜・5時限 火曜・6時限 木曜・4時限 木曜・5時限 木曜・6時限 金曜・3時限	
単位数、講義室	2. 50単位 医学科第2講義室 旭総合講義室A B	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇔ 授業達成目標 M26カリ・医学, M25カリ・医学, M24カリ・医学, M23カリ・医学, M22カリ・医学, M21カリ・医学 ≪基礎的・専門的な知識と技能≫疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技能を修得している。 ⇔ 正確な診断を行うために必要な情報を収集する技能を修得する。 ≪問題解決力≫患者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して適切に判断し必要な行動ができる。 ⇔ 患者の身体的状態を科学的に評価し、適切に判断するのに必要な知識・技能を修得している。		
臨床実習前の到達目標	・必要な課題を発見し、他の学習者や教員と協力してより良い具体的な解決方法を見出すことができる。 ・講義、教科書、検索情報などを基に、自らの考えを示すことができる。 ・必要最低限の病歴を聴取し、基本的な身体診察を行うことができる。 ・適切な態度で診断治療を行うことができる。 ・問題志向型医療記録形式を用い、最低限の診療録を作成できる。 ・コミュニケーションの方法と技能およびその及ぼす影響を概説できる。 ・良好な人間関係を築くことができる。 ・生命科学の講義や実習から得られた情報や知識を基に疾患の理解・診断の深化につなげることができる。		
授業で学べる「テーマ」	健康長寿		
全学横断特別教育プログラム			
授業のキーワード	臨床推論、EBM、医療面接 臨床検査、（末梢血液検査、尿検査、糞便検査、生化学検査、血清検査、免疫学的検査、遺伝子検査、生理検査、呼吸機能検査、心電図検査、髄液検査） 臨床生理学、臨床細胞学、Reversed CPC、 実務経験のある教員による授業科目		
授業の概要・一般目標	基礎医学の知識を活用し症候を考察する 臨床現場での推論のあり方を理解する 医療者としての自分の意見を論理的に示す。 今後の学習や臨床実習に向けて自己の課題を抽出する。 Reversed Clinico-pathological conference 1) 検査値が変動するメカニズムを説明できる 2) 検査値を時系列で判断できる。 3) 複数の検査結果を統合して、一つの病態を解析できる。 4) 複数の病態を統合して、鑑別診断を挙げることができる。 GE-01-04 根拠に基づいた医療(EBM) IT-03-01 電子カルテの特性を踏まえた適切な記載や活用ができる。 GE-01-01 臓器横断的な診断 PR-01-02: 省察、PR-02-03: 品格・礼儀		
テキスト、教材、参考書	参考書： 1. 検査値を読むトレーニング 医学書院（ISBN：978-4-260-02476-1） ルーチン検査値をよむトレーニングができる。 2. 異常値の出るメカニズム第8版 医学書院（ISBN：978-4-260-05385-3） ルーチン検査項目が異常となるメカニズムを学べる。 3. 水・電解質と酸塩基平衡 改訂第2版 南江堂（ISBN：978-4-524-22422-7） 電解質が変動するメカニズムと動脈血ガス分析の解釈法が学べる。		
履修上の注意	【臨床推論】 授業毎に少人数の学生に協力いただき、その学生を中心としたやり取りを教室全体で見るという形式で授業を行う。 1.e-ALPSを利用して授業前に患者情報を提示するため、授業前に一読しておく。 2.授業では、その患者の診断を行うための考え方について、協力いただく学生と教員の間でやり取り（問答）をおこなう。 詳しくはガイダンスにて伝える。 【臨床検査】 必ずeALPSにアクセスし、授業に使用する"患者のルーチン検査データ"をダウンロードし、		

履修上の注意	授業に持参してください。急な授業の変更などの通知も、eALPS にて行うので、前日に必ず再チェックして欲しい。 Reversed Clinico-pathological Conference (RCPC)は、症例のルーチン検査値を読んでいくため、予習がないと十分な理解ができない。必ず自分なりの意見をまとめて授業に臨むこと。 e-ALPSに、RCPCの基礎を勉強するためのパワーポイントビデオ（15-20分のビデオを15本）をアップしてある。必要に応じビデオで予習してほしい。また、いつでも学習が可能である。
授業の形式、視聴覚機器等の活用	1. 臨床推論各回およびRCPC 講義は、active learning 形式で行う。 特にRCPC講義では、予習および復習が必須になる。予習および復習なしで、本講義を履修することは不可能である。 2. 学生同士で課題を討論し、意見をまとめる。無作為に指名された学生に討論内容を発表してもらう。
成績評価の方法	期末試験を70点、講義中についての提出レポート等で30点の合計100点で判定する。 授業に協力してくれた学生に対しては、合計100点を超えない範疇で、最大20点の教員点を、その参加度に応じて付与する。 すべての試験は、授業の行動目標に沿って判定する。 試験では、本授業の学修目標への到達度および今後に必要な知識が定着しているかを確認します。
成績評価の基準	期末試験、ミニテスト、レポートにて授業内容の理解度修得度を評価する。 90－100点：秀 80－89点：優 70－79点：良 60－69点：可 全ての回に出席することを基本とします。この授業の達成目標に到達するために必要な出席回数（およそ8割程度）に出席が満たない場合は、単位を認めない場合があります。欠席した場合の学修補充については、医学部医学科履修及び試験内規に従います。
事前事後学習の内容	臨床検査の授業日前には必ず指定されているパワーポイントビデオはをあらかじめ予習し、症例の検査データを自分なりに解釈する。 eALPS のパワーポイントビデオにより、症例の詳細な全体像をルーチン検査値を解釈することで復習する。 本授業の単位修得には65時間分の時間外学習が必要です。
学生へのメッセージ並びにオフィスアワー（質問、相談への対応）	上原剛、岩谷舞、松本剛 場所：臨床検査部管理室(南中央診療棟2階、病理検査室の奥) 日時：火曜日 15:00-15:30 森淳一郎、熊谷美恵子 学務第一係あるいは医学教育研修センターにてアポイントを取ること

授業日	第 1 回	4月 7日(火 4)	SB0s	F-2-3)
講義室	医学科第2講義室			
GI0	ルーチン検査とはどういった検査なのか理解する。 ルーチン検査の学習法としてRCPCを理解する。			① 臨床検査の目的と意義を説明でき、必要最小限の検査項目を選択できる。 ⑦ 病態を推察する基本的検査と確定診断のための検査の意義・相違点を理解・説明できる。 ⑧ 血算、凝固・線溶検査、尿・糞便検査、生化学検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。
担当	松本 剛			
授業日	第 2 回	4月 7日(火 5)	SB0s	F-2-3)
講義室	医学科第2講義室			
GI0	ルーチン検査の結果解釈の方法を理解する。			① 臨床検査の目的と意義を説明でき、必要最小限の検査項目を選択できる。 ⑦ 病態を推察する基本的検査と確定診断のための検査の意義・相違点を理解・説明できる。 ⑧ 血算、凝固・線溶検査、尿・糞便検査、生化学検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。
担当	松本 剛			
授業日	第 3 回	4月 7日(火 6)	SB0s	F-2-3)
講義室	医学科第2講義室			
GI0	ルーチン検査の結果解釈の方法を理解する。			① 臨床検査の目的と意義を説明でき、必要最小限の検査項目を選択できる。 ⑦ 病態を推察する基本的検査と確定診断のための検査の意義・相違点を理解・説明できる。 ⑧ 血算、凝固・線溶検査、尿・糞便検査、生化学検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。
担当	松本 剛			
授業日	第 4 回	4月14日(火 4)	SB0s	授業の進め方やレポート及びその評価法などについて説明します。
講義室	医学科第2講義室			
GI0	ガイダンス			
担当	森 淳一郎（医学教育研修センター）、熊谷 美恵子（地域医療支援学講座）			
授業日	第 5 回	4月14日(火 5)	SB0s	症候レクチャーとグループワーク
講義室	医学科第2講義室			
GI0	臨床推論「お腹が痛い」			
担当	熊谷 美恵子（地域医療支援学講座）			
授業日	第 6 回	4月14日(火 6)	SB0s	症候レクチャーとグループワーク
講義室	医学科第2講義室			
GI0	臨床推論「お腹が痛い」			
担当	熊谷 美恵子（地域医療支援学講座）			
授業日	第 7 回	4月16日(木 4)	SB0s	振り返りと症候レクチャー
講義室	医学科第2講義室			
GI0	臨床推論「頭が痛い」			
担当	森 淳一郎（医学教育研修センター）			
授業日	第 8 回	4月16日(木 5)	SB0s	症候レクチャーとグループワーク
講義室	医学科第2講義室			
GI0	臨床推論「頭が痛い」			
担当	森 淳一郎（医学教育研修センター）			
授業日	第 9 回	4月16日(木 6)	SB0s	症候レクチャーとグループワーク
講義室	医学科第2講義室			
GI0	臨床推論「頭が痛い」			
担当	森 淳一郎（医学教育研修センター）			
授業日	第 10 回	4月21日(火 4)	SB0s	振り返りと症候レクチャー
講義室	医学科第2講義室			
GI0	臨床推論「息が苦しい」			
担当	熊谷 美恵子（地域医療支援学講座）			

授業日	第 11 回	4月21日(火 5)	SB0s	症候レクチャーとグループワーク
講義室	医学科第2講義室			
GI0	臨床推論「息が苦しい」			
担当	熊谷 美恵子（地域医療支援学講座）			
授業日	第 12 回	4月21日(火 6)	SB0s	症候レクチャーとグループワーク
講義室	医学科第2講義室			
GI0	臨床推論「息が苦しい」			
担当	熊谷 美恵子（地域医療支援学講座）			
授業日	第 13 回	4月28日(火 4)	SB0s	F-2-3) ① 臨床検査の目的と意義を説明でき、必要最小限の検査項目を選択できる。 ④ 臨床検査の判定基準（基準値・基準範囲、カットオフ値、パニック値）を説明できる。 ⑦ 病態を推察する基本的検査と確定診断のための検査の意義・相違点を理解・説明できる。 ⑧ 血算、凝固・線溶検査、尿・糞便検査、生化学検査の結果を解釈できる。 ⑪ 免疫血清学検査、輸血検査の結果を解釈できる。 ⑭ 動脈血ガス分析の結果を解釈できる。
講義室	医学科第2講義室			
GI0	RCPCを用いて、1症例のルーチン検査結果を解釈し、患者の病態を理解する。			
担当	菅野光俊（福島県立医科大学 臨床検査科 准教授）			
授業日	第 14 回	4月28日(火 5)	SB0s	F-2-3) ① 臨床検査の目的と意義を説明でき、必要最小限の検査項目を選択できる。 ⑦ 病態を推察する基本的検査と確定診断のための検査の意義・相違点を理解・説明できる。 ⑭ 動脈血ガス分析の結果を解釈できる。
講義室	医学科第2講義室			
GI0	動脈血ガス分析について理解する。			
担当	松本 剛			
授業日	第 15 回	4月28日(火 6)	SB0s	F-2-3) ① 臨床検査の目的と意義を説明でき、必要最小限の検査項目を選択できる。 ⑦ 病態を推察する基本的検査と確定診断のための検査の意義・相違点を理解・説明できる。 ⑭ 動脈血ガス分析の結果を解釈できる。
講義室	医学科第2講義室			
GI0	動脈血ガス分析について理解する。			
担当	松本 剛			
授業日	第 16 回	5月12日(火 4)	SB0s	振り返りと症候レクチャー
講義室	医学科第2講義室			
GI0	臨床推論「体重が減った」			
担当	熊谷 美恵子（地域医療支援学講座）			
授業日	第 17 回	5月12日(火 5)	SB0s	症候レクチャーとグループワーク
講義室	医学科第2講義室			
GI0	臨床推論「体重が減った」			
担当	熊谷 美恵子（地域医療支援学講座）			
授業日	第 18 回	5月12日(火 6)	SB0s	症候レクチャーとグループワーク
講義室	医学科第2講義室			
GI0	臨床推論「体重が減った」			
担当	熊谷 美恵子（地域医療支援学講座）			
授業日	第 19 回	5月19日(火 4)	SB0s	F-2-4) ① 病理診断、細胞診の適切な検体の取扱い、標本作製及び診断過程が説明できる。 F-2-3) ① 染色体・遺伝子検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。 ⑩ 病理組織検査、細胞診検査、フローサイトメトリの意義を説明できる
講義室	医学科第2講義室			
GI0	外科病理学の有用性を理解し、外科病理検査を的確に依頼できる。			
担当	上原 剛			
授業日	第 20 回	5月19日(火 5)	SB0s	F-2-3) ② 臨床検査の正しい検体採取方法と検体保存方法を説明できる。 ③ 臨床検査の安全な実施方法（患者確認と検体確認、検査の合併症、感染症予防、精度管理）を説明できる。 ⑤ 臨床検査の生理的変動、測定誤差、精度管理、ヒューマンエラーを説明できる。
講義室	医学科第2講義室			
GI0	検査値において異常を認めた場合、どのように対処すべきかを理解する。			
担当	戸塚 実（東京科学大学名誉教授）			

授業日	第 21 回	5月19日(火 6)	SB0s	F-2-4)
講義室	医学科第2講義室			① 病理診断、細胞診の適切な検体の取扱い、標本作製及び診断過程が説明できる。
G10	遺伝子検査の使い方が理解できる。			F-2-3)
				⑨ 染色体・遺伝子検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。
				⑩ 病理組織検査、細胞診検査、フローサイトメトリの意義を説明できる。
担当	佐野 健司（飯田市立病院 病理診断科科長）			
授業日	第 22 回	5月26日(火 4)	SB0s	振り返りと症候レクチャー
講義室	医学科第2講義室			
G10	臨床推論「全身が痛い」			
担当	熊谷 美恵子（地域医療支援学講座）			
授業日	第 23 回	5月26日(火 5)	SB0s	症候レクチャーとグループワーク
講義室	医学科第2講義室			
G10	臨床推論「全身が痛い」			
担当	熊谷 美恵子（地域医療支援学講座）			
授業日	第 24 回	5月26日(火 6)	SB0s	症候レクチャーとグループワーク
講義室	医学科第2講義室			
G10	臨床推論「全身が痛い」			
担当	熊谷 美恵子（地域医療支援学講座）			
授業日	第 25 回	6月 2日(火 4)	SB0s	F-2-3)
講義室	医学科第2講義室			① 臨床検査の目的と意義を説明でき、必要最小限の検査項目を選択できる。
G10	検査結果の解釈について理解する。			④ 臨床検査の判定基準（基準値・基準範囲、カットオフ値、パニック値）を説明できる。
				⑦ 病態を推察する基本的検査と確定診断のための検査の意義・相違点を理解・説明できる。
担当	松本 剛			
授業日	第 26 回	6月 2日(火 5)	SB0s	F-2-3)
講義室	医学科第2講義室			① 臨床検査の目的と意義を説明でき、必要最小限の検査項目を選択できる。
G10	RCPCを用いて、1症例のルーチン検査結果を解釈し、患者の病態を理解する。			④ 臨床検査の判定基準（基準値・基準範囲、カットオフ値、パニック値）を説明できる。
				⑦ 病態を推察する基本的検査と確定診断のための検査の意義・相違点を理解・説明できる。
				⑧ 血算、凝固・線溶検査、尿・糞便検査、生化学検査の結果を解釈できる。
				⑪ 免疫血清学検査、輸血検査の結果を解釈できる。
担当	松本 剛			⑭ 動脈血ガス分析の結果を解釈できる。
授業日	第 27 回	6月 2日(火 6)	SB0s	F-2-3)
講義室	医学科第2講義室			① 臨床検査の目的と意義を説明でき、必要最小限の検査項目を選択できる。
G10	RCPCを用いて、1症例のルーチン検査結果を解釈し、患者の病態を理解する。			④ 臨床検査の判定基準（基準値・基準範囲、カットオフ値、パニック値）を説明できる。
				⑦ 病態を推察する基本的検査と確定診断のための検査の意義・相違点を理解・説明できる。
				⑧ 血算、凝固・線溶検査、尿・糞便検査、生化学検査の結果を解釈できる。
				⑪ 免疫血清学検査、輸血検査の結果を解釈できる。
担当	松本 剛			⑭ 動脈血ガス分析の結果を解釈できる。
授業日	第 28 回	6月 9日(火 4)	SB0s	医療面接の流れを説明できるようになる。
講義室	医学科第2講義室			医療面接において使用する用語を説明できるようになる。
G10	医療面接の基礎			
担当	森 淳一郎（医学教育研修センター）			
授業日	第 29 回	6月 9日(火 5)	SB0s	医療面接の流れを説明できるようになる。
講義室	医学科第2講義室			手順書を見ながらペアにて医療面接に挑戦する。
G10	医療面接の基礎（実技）			
担当	森 淳一郎（医学教育研修センター）			

授業日	第 30 回	6月 9日(火 6)	SB0s	医療面接の流れを説明できるようになる。 手順書を見ながらペアにて医療面接に挑戦する。
講義室	医学科第2講義室			
GI0	医療面接の基礎（実技）			
担当	森 淳一郎（医学教育研修センター）			
授業日	第 31 回	6月15日(月 6)	SB0s	
講義室	医学科第2講義室			
GI0	自習			
担当				
授業日	第 32 回	6月16日(火 4)	SB0s	F-2-3) ① 臨床検査の目的と意義を説明でき、必要最小限の検査項目を選択できる。 ④ 臨床検査の判定基準（基準値・基準範囲、カットオフ値、パニック値）を説明できる。 ⑦ 病態を推察する基本的検査と確定診断のための検査の意義・相違点を理解・説明できる。 ⑧ 血算、凝固・線溶検査、尿・糞便検査、生化学検査の結果を解釈できる。 ⑪ 免疫血清学検査、輸血検査の結果を解釈できる。 ⑭ 動脈血ガス分析の結果を解釈できる。
講義室	医学科第2講義室			
GI0	RCPCを用いて、1症例のルーチン検査結果を解釈し、患者の病態を理解する。 (グループディスカッション)			
担当	松本 剛			
授業日	第 33 回	6月16日(火 5)	SB0s	F-2-3) ① 臨床検査の目的と意義を説明でき、必要最小限の検査項目を選択できる。 ④ 臨床検査の判定基準（基準値・基準範囲、カットオフ値、パニック値）を説明できる。 ⑦ 病態を推察する基本的検査と確定診断のための検査の意義・相違点を理解・説明できる。 ⑧ 血算、凝固・線溶検査、尿・糞便検査、生化学検査の結果を解釈できる。 ⑪ 免疫血清学検査、輸血検査の結果を解釈できる。 ⑭ 動脈血ガス分析の結果を解釈できる。
講義室	医学科第2講義室			
GI0	RCPCを用いて、1症例のルーチン検査結果を解釈し、患者の病態を理解する。 (グループディスカッション)			
担当	松本 剛			
授業日	第 34 回	6月16日(火 6)	SB0s	F-2-3) ① 臨床検査の目的と意義を説明でき、必要最小限の検査項目を選択できる。 ④ 臨床検査の判定基準（基準値・基準範囲、カットオフ値、パニック値）を説明できる。 ⑦ 病態を推察する基本的検査と確定診断のための検査の意義・相違点を理解・説明できる。 ⑧ 血算、凝固・線溶検査、尿・糞便検査、生化学検査の結果を解釈できる。 ⑪ 免疫血清学検査、輸血検査の結果を解釈できる。 ⑭ 動脈血ガス分析の結果を解釈できる。
講義室	医学科第2講義室			
GI0	RCPCを用いて、1症例のルーチン検査結果を解釈し、患者の病態を理解する。(グループディスカッション) ○授業のふりかえりを入力する			
担当	松本 剛			
授業日	第 35 回	6月23日(火 4)	SB0s	
講義室	医学科第2講義室			
GI0	自習			
担当				
授業日	第 36 回	6月23日(火 5)	SB0s	
講義室	医学科第2講義室			
GI0	自習			
担当				
授業日	第 37 回	6月23日(火 6)	SB0s	
講義室	医学科第2講義室			
GI0	自習			
担当				
授業日	第 38 回	6月26日(金 2～3)	SB0s	
講義室	医学科第2講義室			
GI0	期末試験			
担当	森 淳一郎、上原 剛、松本 剛、熊谷 美恵子			